

**7月10日 隈府小学校**  
**西米良村の小学生と交流**

本市の姉妹都市である宮崎県西米良村の村所小学校の児童が隈府小学校を訪問し、2日間の交流を行いました。2日目の全体交流会では、村所小学校の児童が神楽体操を、隈府小学校の児童が千本槍と合唱を披露しました。



村所小学校の児童による、伝統ある神楽体操の発表。隈府小学校の児童たちは真剣に見入っていました

**7月13日 長年の功績をたたえて**  
**宮川伊十さんが勲章を受章**

宮川伊十さん(間所)に勲章(瑞宝双光章)が授与されました。宮川さんは、中学校教員を35年間勤め、平成26年に退職。平成28年から、ひとり親家庭の子どもたちに学習支援を行う「カバちゃん教室」を開き、現在も指導を続けています。



宮川さんは「お世話になった地域や学校に恩を返す気持ちで続けてきました。受章できたのは、皆さんのおかげです」と話しました

**7月19日 無形民俗文化財**  
**住吉日吉神社雨乞太鼓を奉納**

市無形民俗文化財の住吉日吉神社雨乞太鼓は、菊池川流域の雨乞い習俗として日本遺産の構成文化財の一つにも数えられています。当日は保存会の皆さんが集まり、祝詞の奏上、太鼓のお祓いなどの神事ののち、太鼓を叩きました。



500年ほど前、合志隆門が干ばつに苦しむ住民のために太鼓を叩き雨乞いを行うと、滝のような雨に恵まれたことが始まりとされています

**7月10日 旭志中学校**  
**難民へ古着を届けるプロジェクト**

旭志中学校で、ユニクロなどを展開する㈱ファーストリテイリング(東京都)の「「届けよう、服のチカラ」プロジェクト」が始まりました。同社の松岡昌治さんが、服の役割や難民の実態などを、同校の全校生徒100人に講義しました。



生徒たちは、11月までに校内や地域から古着を収集し、その後、同社によって難民へ寄贈される予定です

**7月13日 ㈱貫水と協定締結**  
**災害時に飲料水提供の支援**

飲料水の製造を行う㈱貫水(川辺)と災害時における物資調達に関する協定の締結を行いました。飲料水は、市民の生命・身体を守る上で必要不可欠なものであり、協定締結により、さらなる防災体制の強化が図られます。



㈱貫水の杉田滋人代表取締役

**7月19日 北住吉区で川祭り**  
**川の恵みへの感謝と川の安全を願う**

川祭りは川の恵みへの感謝と、水難事故などが起きないように川が鎮まることを願うお祭りです。昔は河川が氾濫する原因は川太郎(かつぱ)と考えられ、かつぱの好物であるキュウリやナスをお供えするようになったといわれています。



住吉日吉神社の前を流れる合志川の取水口付近に、竹に御幣とナス、キュウリ、コメと酒を入れた竹筒を下げて行われます

**6月30日 人権擁護委員退任感謝状伝達式**  
**長年の功績を称えて**

令和8年4月1日付で任期満了となった北川敬司(富納)さんと樋川健治(中西寺)さんは、2期(6年)にわたり人権擁護委員として、人権教育・啓発の推進に尽力しました。その功績により、法務大臣から感謝状が贈呈されました。



北川さん⑩と樋川さん(⑨から2番目)は、「これまでの経験を生かし、地域のためにできることを続けていきたい」と話しました

**7月3日 市と包括連携協定企業・大学等との交流会**  
**地域活性化に向けた産官学の交流**

市では、地域課題の解決や地域活性化に向け産官学が連携した取り組みを進めています。本交流会は、協定企業・大学、市内各種団体が交流し、新たな地域活性化の手法やビジネスチャンスの発掘につなげることを目的に開催しました。



総勢82人が参加。ワークショップを通じて、今後の連携強化に向けた多角的な視点からアイデアを出し合いました

**7月9日 自治公民館長を対象とした研修会**  
**地域の防災力強化に向けて**

防災マイスター10人を講師に迎え、自治公民館長研修が行われました。地域の重要な役割を担う自治公民館長が防災について学ぶことで、「自助・共助」の意識を高め、各自治区の防災力強化につなげるための研修となりました。



103人が参加。「さくち総合防災マップ」で危険箇所を確認しながらマイタイムラインを作成後、ワークショップを行いました

**6月11日 花きの振興・発展に尽力**  
**松永義弘さんが金賞を受賞**

令和7年度県花き品評会表彰式において、松永義弘さん(菊池島島)が金賞を受賞しました。栽培技術の高さやニーズを踏まえた品種選定、土作りへの先行投資など、品質向上に努めたことが評価されました。



松永さん⑨は、宿根カスミソウ、トルコギキョウ、スターチス、アスターなど、さまざまな切り花栽培に長年取り組まれています

**7月2日 熊本言友会**  
**吃音に関する図書を寄付**

熊本言友会の森圭二郎会長から、「ことねとコットのこえふうせん きつ音を理解する絵本」が寄付されました。森会長は、「吃音という言葉が浸透していない状況の中で、絵本を通じて吃音について多くの方に知ってほしい」と話しました。



本は、市内の各小学校の図書室や図書館に送られます

**7月7日 市の発展に寄与**  
**企業版ふるさと納税で市に寄付**

建設コンサルタント事業会社の「㈱十八測量設計」(熊本市)が企業版ふるさと納税を通じて市に寄付しました。昨年度に引き続き、2回目の寄付となります。寄付金は、「子育て世帯移住支援事業」へ有効活用します。



㈱十八測量設計の冨永勝也代表取締役⑩と江頭実市長⑨